

令和5年度 勝浦市農業振興に関するアンケート調査 集計結果

令和5年12月

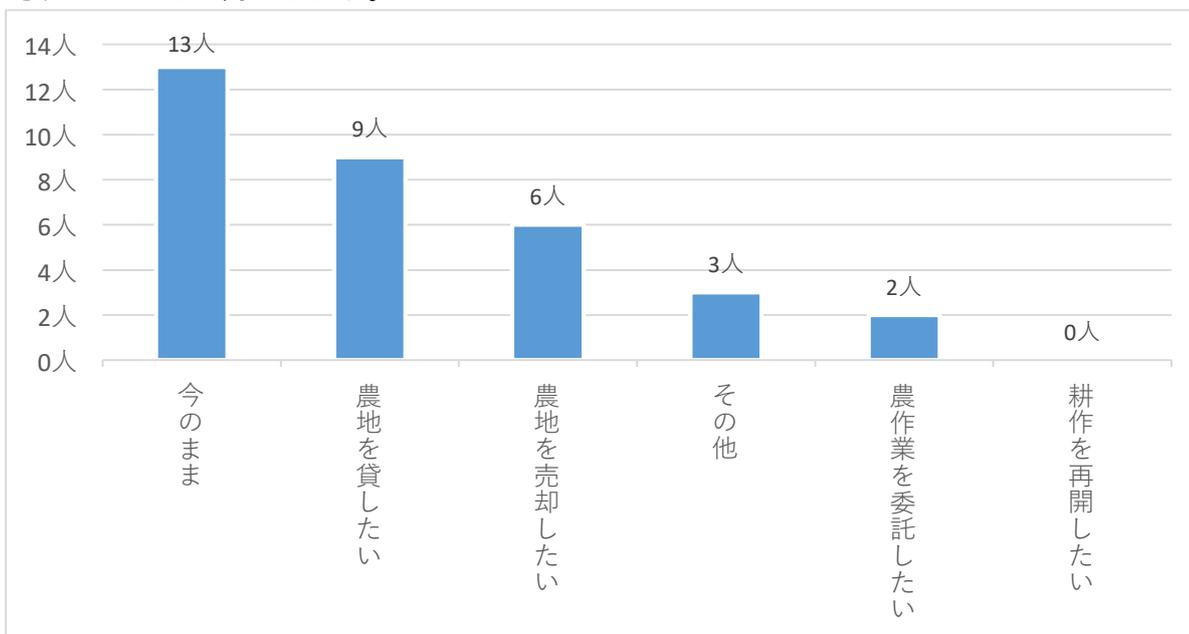
① アンケートにお答えいただく方の住所・氏名などを記入してください。

・回答者数：43人

うち、インターネットによる回答12人

| | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 性別 | 男性 | 34人 | | |
| | 女性 | 9人 | | |
| 世代別 | 30代 | 2人 | 60代 | 12人 |
| | 40代 | 2人 | 70代 | 15人 |
| | 50代 | 8人 | 80代 | 4人 |

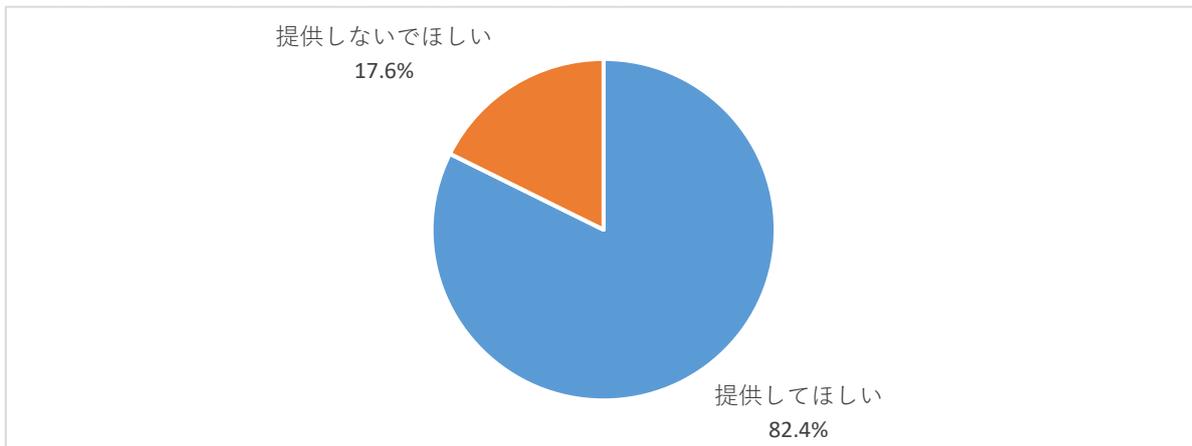
② 農地を所有している方のうち、耕作していない農地をお持ちの方に今後の農地利用の意向についてお伺いします。



| | | |
|-----------|-----|-------|
| 今のまま | 13人 | 39.4% |
| 農地を貸したい | 9人 | 27.3% |
| 農地を売却したい | 6人 | 18.2% |
| その他 | 3人 | 9.1% |
| 農作業を委託したい | 2人 | 6.1% |
| 耕作を再開したい | 0人 | 0.0% |

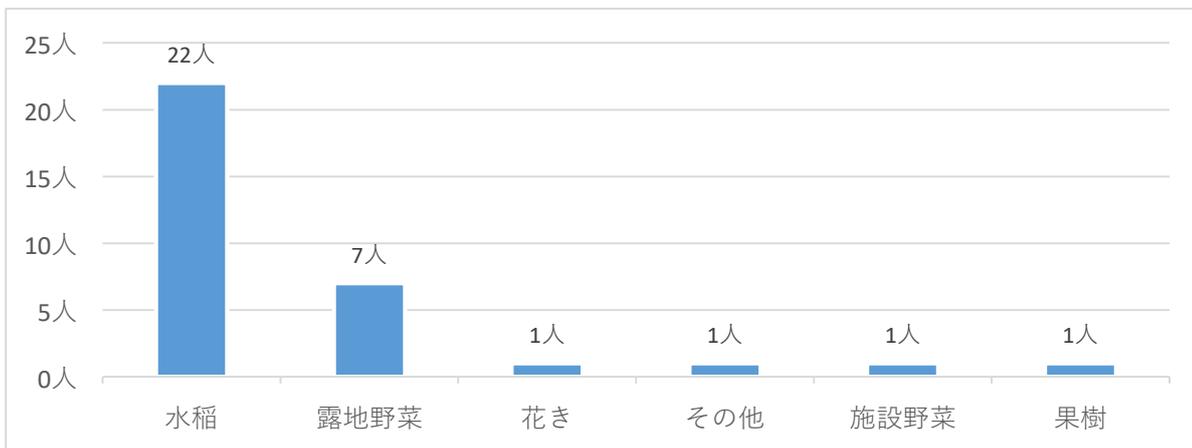
- その他の回答
- ・すでに貸している
 - ・基盤整備後に耕作する
 - ・耕作は地区の方に依頼している

③ ②で農作業を委託したい、農地を貸したい、農地を売却したいと回答した方にお伺いします。あなたの農地を耕作したい方がいれば、上記①に記入いただいた情報の内、氏名と連絡先の情報を耕作希望者に提供してもよろしいですか。



| | | |
|-----------|-----|-------|
| 提供してほしい | 14人 | 82.4% |
| 提供しないでほしい | 3人 | 17.6% |

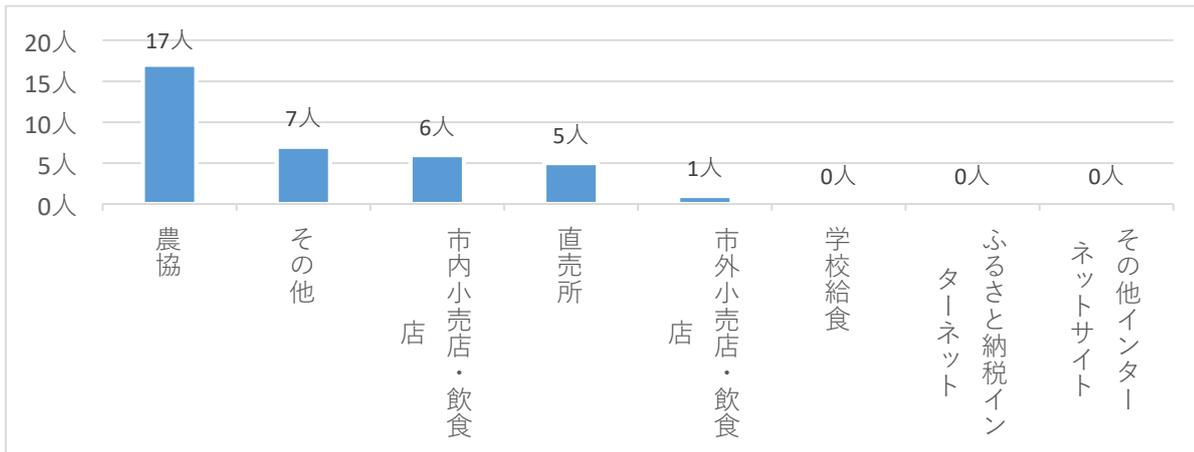
④ 主な生産品目について



| | | |
|------|-----|-------|
| 水稲 | 22人 | 66.7% |
| 露地野菜 | 7人 | 21.2% |
| 花き | 1人 | 3.0% |
| その他 | 1人 | 3.0% |
| 施設野菜 | 1人 | 3.0% |
| 果樹 | 1人 | 3.0% |

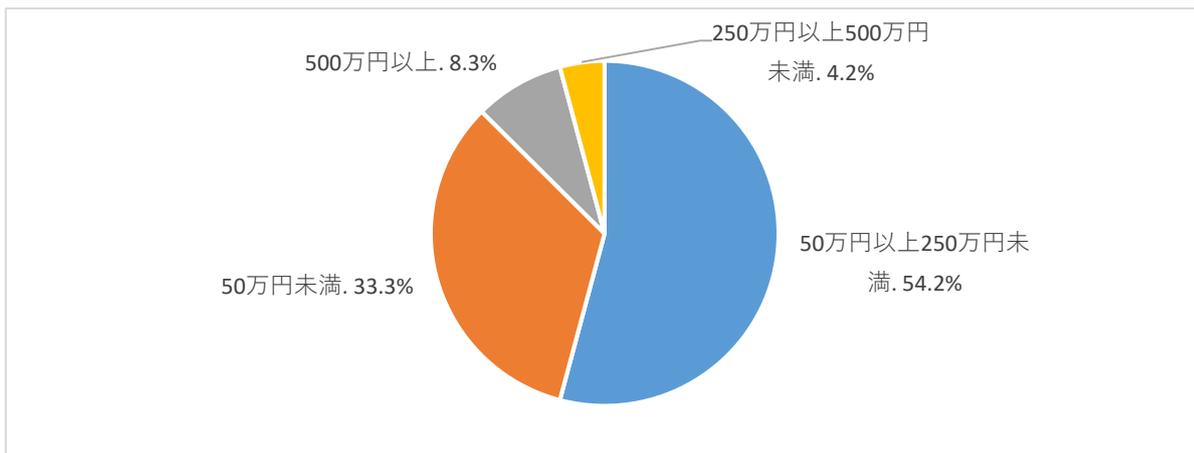
■ その他の回答
 ・自家消費の野菜程度

⑤ 生産物の販売先・販売方法について(複数回答可)



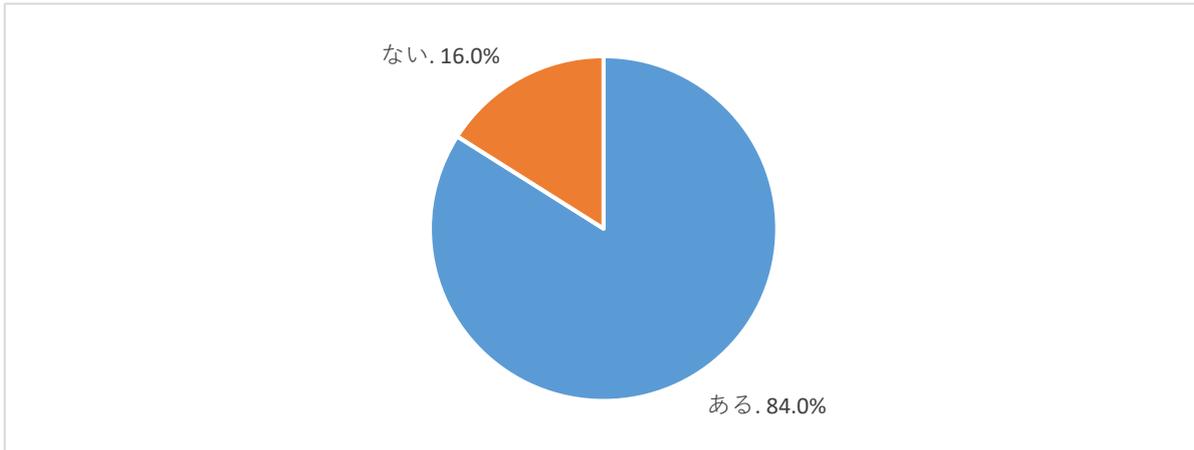
| | | | |
|---------------|-----|-------|------------------------------------------------------|
| 農協 | 17人 | 47.2% | ■ その他の回答 ・ 朝市 ・ 市外の業者 ・ 知人や友人 ・ 販売をしていない |
| その他 | 7人 | 19.4% | |
| 市内小売店・飲食店 | 6人 | 16.7% | |
| 直売所 | 5人 | 13.9% | |
| 市外小売店・飲食店 | 1人 | 2.8% | |
| 学校給食 | 0人 | 0.0% | |
| ふるさと納税インターネット | 0人 | 0.0% | |
| その他インターネットサイト | 0人 | 0.0% | |

⑥ 年間の農業収入(経費を引く前の額)について



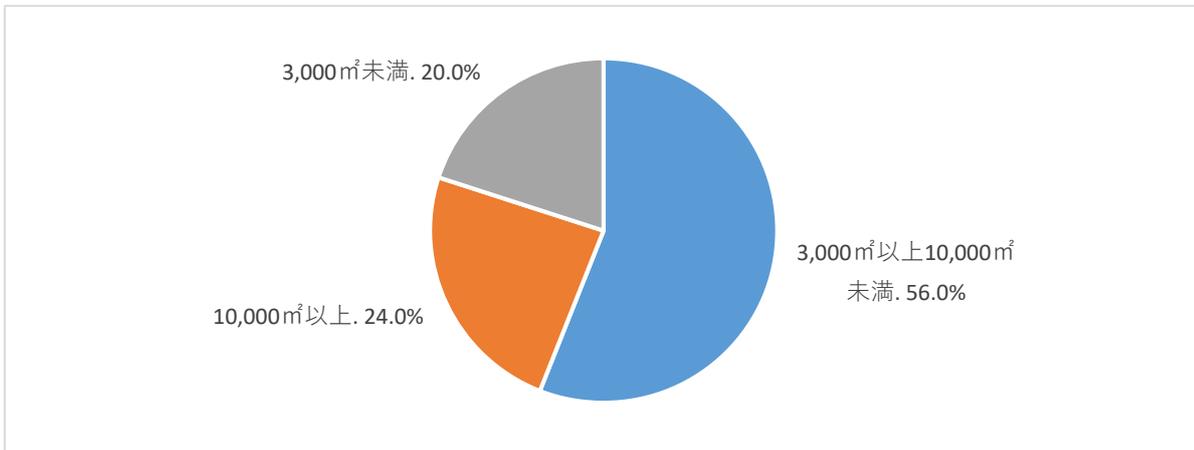
| | | |
|----------------|-----|-------|
| 50万円未満 | 8人 | 33.3% |
| 50万円以上250万円未満 | 13人 | 54.2% |
| 250万円以上500万円未満 | 1人 | 4.2% |
| 500万円以上 | 2人 | 8.3% |

⑦ 農業以外の収入はありますか



| | | |
|----|-----|-------|
| ある | 21人 | 84.0% |
| ない | 4人 | 16.0% |

⑧ 現在の農業経営面積について



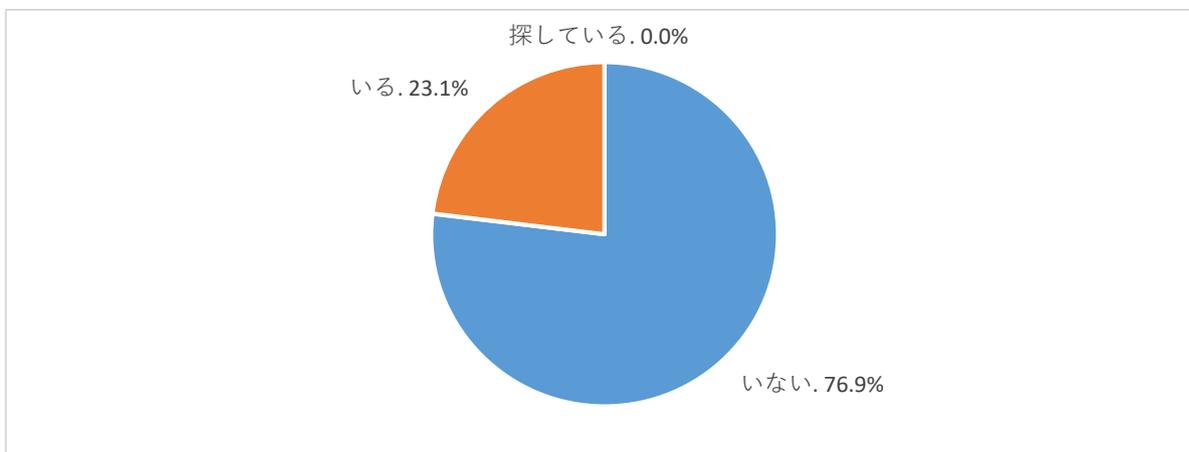
| | | |
|---------------------|-----|-------|
| 3,000m²未満 | 5人 | 20.0% |
| 3,000m²以上10,000m²未満 | 14人 | 56.0% |
| 10,000m²以上 | 6人 | 24.0% |

⑨ 現在の農業経営形態について



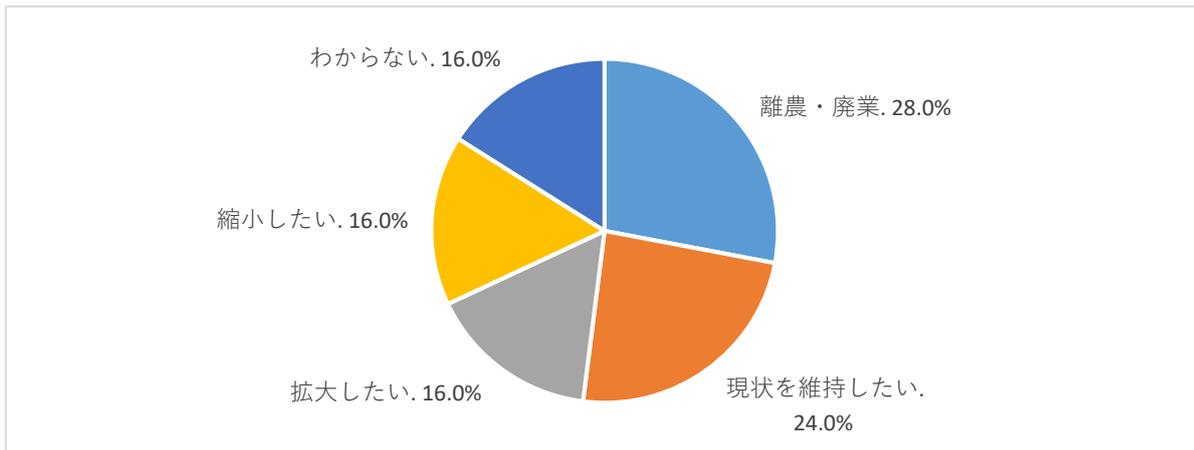
| | | |
|----------|-----|-------|
| 個人経営 | 24人 | 96.0% |
| その他 | 1人 | 4.0% |
| 集落営農組織経営 | 0人 | 0.0% |
| 法人経営 | 0人 | 0.0% |

⑩ あなたには担い手(後継者)がいますか



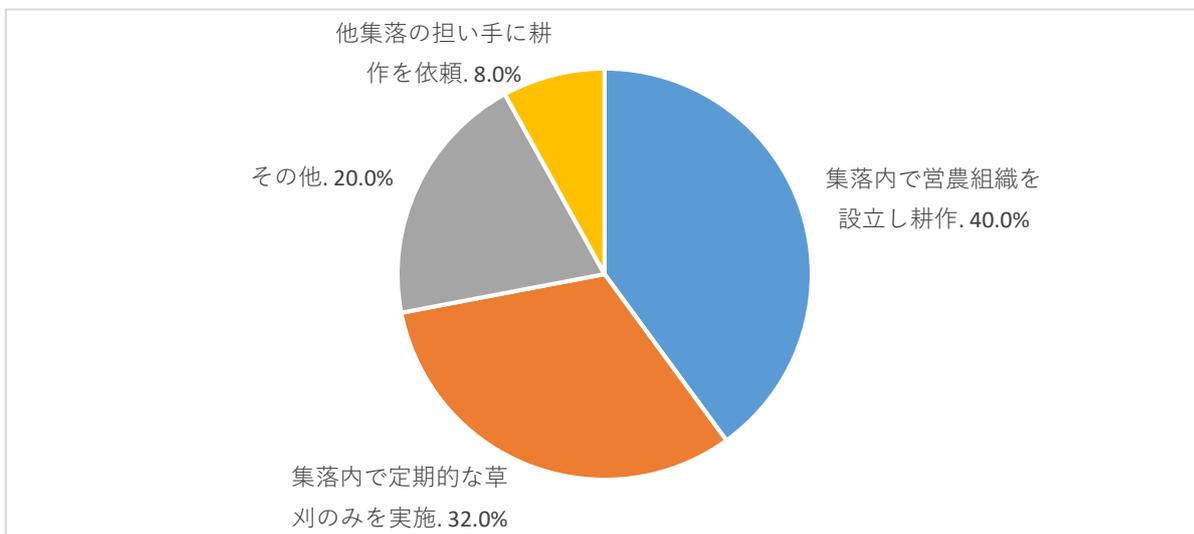
| | | |
|-------|-----|-------|
| いない | 20人 | 76.9% |
| いる | 6人 | 23.1% |
| 探している | 0人 | 0.0% |

⑪ 10年後の農業経営規模の方向性について



| | | |
|----------|----|-------|
| 離農・廃業 | 7人 | 28.0% |
| 現状を維持したい | 6人 | 24.0% |
| 拡大したい | 4人 | 16.0% |
| 縮小したい | 4人 | 16.0% |
| わからない | 4人 | 16.0% |

⑫ 10年後、農業の担い手が減少し、集落内の田畑が耕作放棄地等になってしまうと、生活環境の悪化につながります。それを回避するためにどのようにしたらいいと考えますか

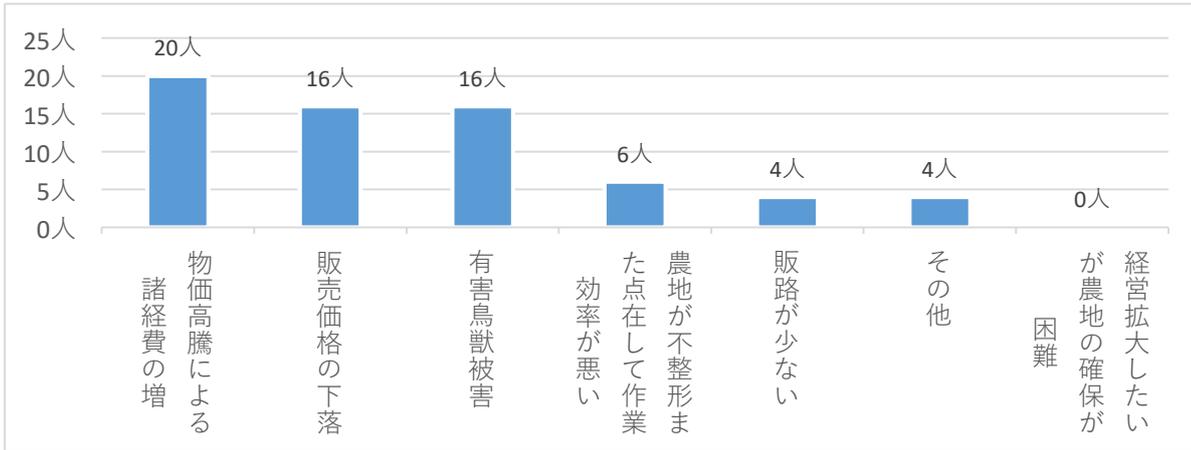


| | | |
|-----------------|-----|-------|
| 集落内で営農組織を設立し耕作 | 10人 | 40.0% |
| 集落内で定期的な草刈のみを実施 | 8人 | 32.0% |
| その他 | 5人 | 20.0% |
| 他集落の担い手に耕作を依頼 | 2人 | 8.0% |

■ その他の回答

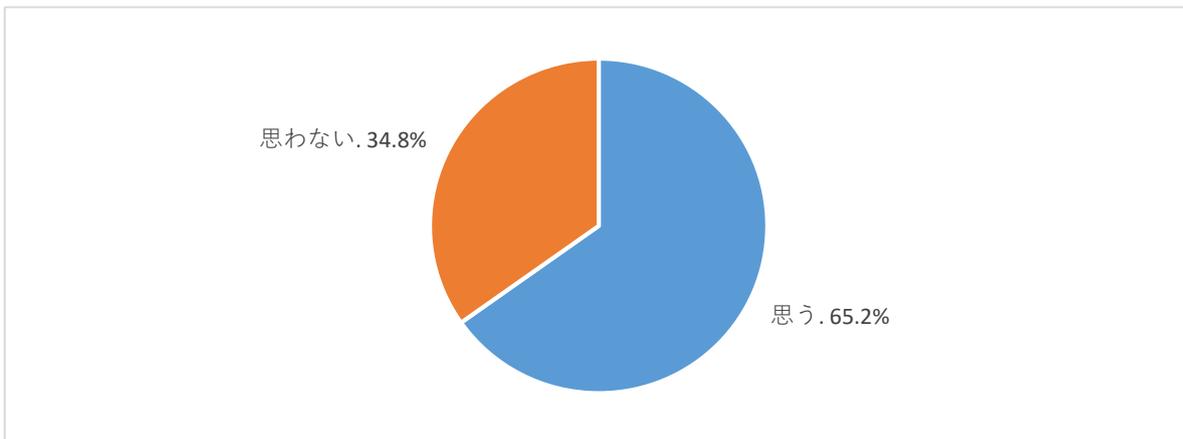
- ・農業に限らず、事業の実施を目指す者を誘致する。
- ・この地域では成り立たないと思う
- ・外部の入居者に耕作してもらう
- ・市行政が実効性のある農業振興を図る(今は何もやってない様に見える)
- ・高齢化の進展により自己管理が不可能になると考える。

⑬ 農業経営を行っていて困難な点について(3つまで回答可)



| | | | |
|---------------------|-----|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 物価高騰による諸経費の増 | 20人 | 30.3% | ■その他の回答 ・作業員の確保 ・農業関連の機械が高すぎる ・農業指導者がいない。薬剤、病気、肥料など指導できない。 ・農機具が高くて買い換えられない。 |
| 販売価格の下落 | 16人 | 24.2% | |
| 有害鳥獣被害 | 16人 | 24.2% | |
| 農地が不整形また点在して作業効率が悪い | 6人 | 9.1% | |
| 販路が少ない | 4人 | 6.1% | |
| その他 | 4人 | 6.1% | |
| 経営拡大したいが農地の確保が困難 | 0人 | 0.0% | |

⑭ 農産物に付加価値をつけて販売し、収益を上げたいと思いますか



| | | |
|------|-----|-------|
| 思う | 15人 | 65.2% |
| 思わない | 8人 | 34.8% |

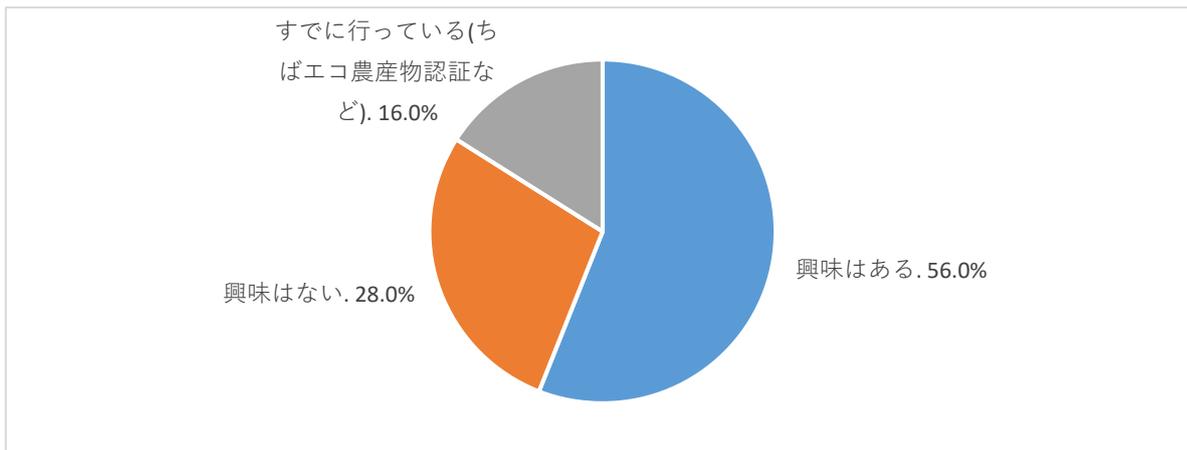
■思う理由

- ・とにかく品質のいい野菜を作ることが今の自分にできることだと考えている。

■思わない理由

- ・高齢のため
- ・販売を目的としていない
- ・労働力が増大する。
- ・地味だが、おいしいものを販売していきたい。
- ・耕作面積も少ないため。現状維持ができればいいと思います。

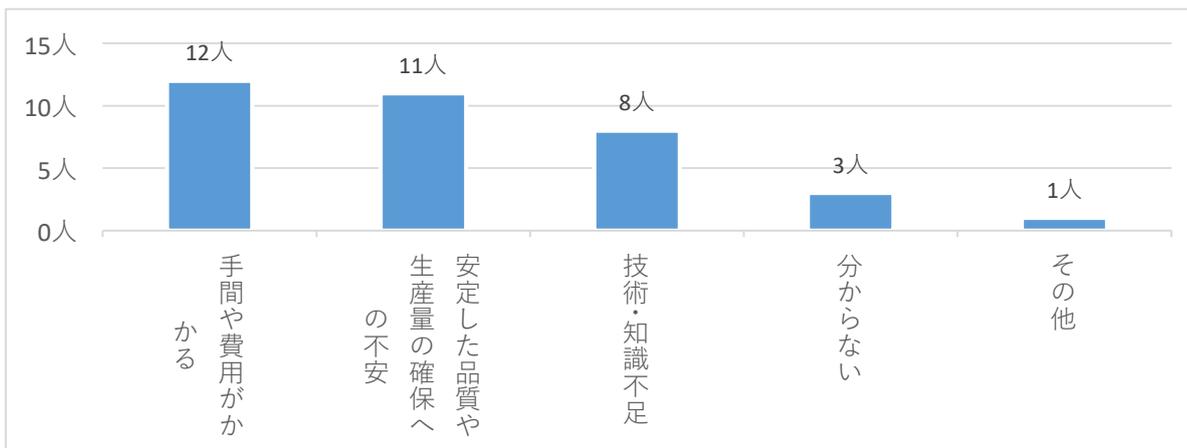
⑮ 環境に配慮した農業(減農薬栽培や有機農業)に興味はありますか



| | | |
|-----------------------|-----|-------|
| 興味はある | 14人 | 56.0% |
| 興味はない | 7人 | 28.0% |
| すでに行っている(ちばエコ農産物認証など) | 4人 | 16.0% |

■その他の回答
 ・これ以上の作業量の増加は不可能である。

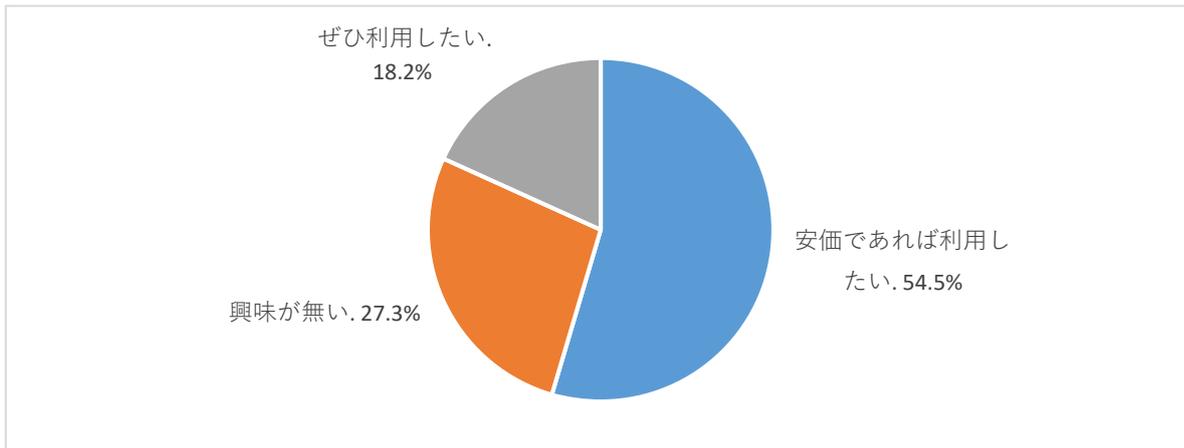
⑯ 環境に配慮した農業(減農薬栽培や有機農業)を行う上での問題点について



| | | |
|-------------------|-----|-------|
| 手間や費用がかかる | 12人 | 34.3% |
| 安定した品質や生産量の確保への不安 | 11人 | 31.4% |
| 技術・知識不足 | 8人 | 22.9% |
| 分からない | 3人 | 8.6% |
| その他 | 1人 | 2.9% |

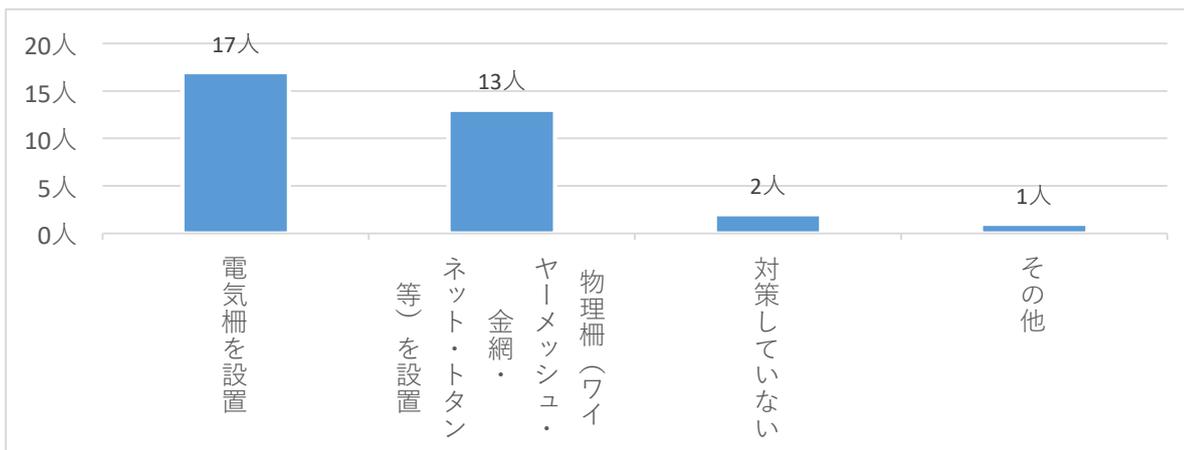
■その他の回答
 ・有機農業は実質的に不可能だと考える。

⑰ ドローン(無線操縦の無人機)での有償農薬空中散布について(水稻農家のみ回答)



| | | |
|-------------|-----|-------|
| 安価であれば利用したい | 12人 | 54.5% |
| 興味が無い | 6人 | 27.3% |
| ぜひ利用したい | 4人 | 18.2% |

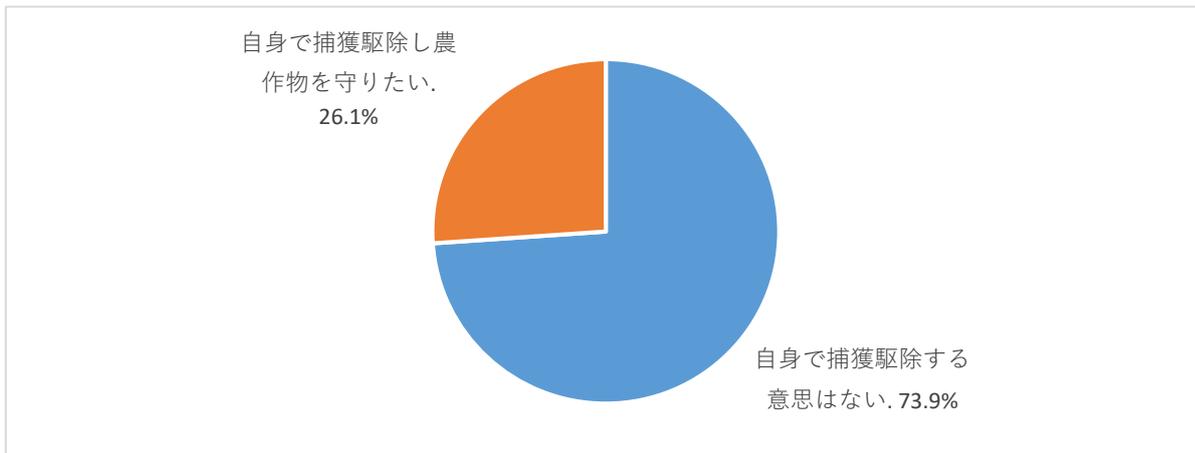
⑱ 有害鳥獣から農作物を守る対策について、具体的にどのような対策を行っていますか



| | | |
|------------------------------|-----|-------|
| 電気柵を設置 | 17人 | 51.5% |
| 物理柵(ワイヤーメッシュ・金網・ネット・トタン等)を設置 | 13人 | 39.4% |
| 対策していない | 2人 | 6.1% |
| その他 | 1人 | 3.0% |

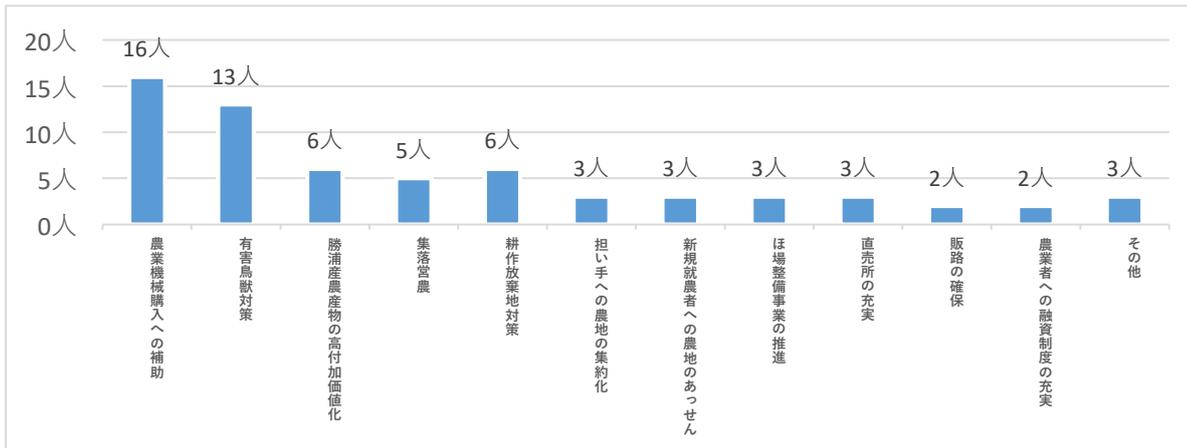
■ その他回答
 ・露地栽培をやめた
 ・例年サル被害が多少あるが、今年是对策によりなくなった。

⑭ 狩猟免許(銃猟やわな猟)の取得など必要な手続きを行えば、ご自身で有害鳥獣を捕獲駆除が可能です。また、狩猟免許を取得するための補助金制度があります。



| | | |
|------------------|-----|-------|
| 自身で捕獲駆除する意思はない | 17人 | 73.9% |
| 自身で捕獲駆除し農作物を守りたい | 6人 | 26.1% |

⑳ 勝浦市にはどのような農業施策が必要と考えますか(3つまで回答可)



| | | |
|----------------------------------------|-----|-------|
| 農業機械購入への補助 | 16人 | 22.9% |
| 有害鳥獣対策 | 13人 | 18.6% |
| 勝浦産農産物の高付加価値化 (環境に配慮した栽培の推進やブランドなど) | 6人 | 8.6% |
| 集落営農(農業機械の共同利用等) | 5人 | 7.1% |
| 耕作放棄地対策 | 6人 | 8.6% |
| 担い手への農地の集約化 | 3人 | 4.3% |
| 新規就農者への農地のあっせん | 3人 | 4.3% |
| ほ場整備事業の推進 | 3人 | 4.3% |
| 直売所の充実 | 3人 | 4.3% |
| 販路の確保 | 2人 | 2.9% |
| 農業者への融資制度の充実 | 2人 | 2.9% |
| その他 | 3人 | 4.3% |
| 企業の農業参入推進 | 0人 | 0.0% |

■その他の回答

- ・優良農地以外の利用用途の自由化、転用促進
- ・勝浦市で行っている現在の具体的な施策がわからない
- ・農業経営ができる企業誘致

■その他の意見

・農地(水稲)を多数所有し、他人に耕作してもらっている。いつまでやってもらえるか不安。いずれ(おそらく近いうち)耕作放棄地になる。

・私は定年退職を機に夫婦で本市に移住し就農して10年になる者です。80アールの畑で年間を通して10数種類の野菜を栽培し直売所で販売し生計を立てています。残念ながら勝浦市には販売力のある直売所がないため大多喜町の「道の駅たけゆらの里おおたき」及び「わくわく広場大多喜店」、いすみ市の「JAグリーンスパいすみ」「ごじゃ箱」で販売しています。特に「道の駅たけゆらの里おおたき」は他店の10倍位の販売力があり週末や観光シーズンは1日で私の出荷野菜だけでも100~200袋売れます。ただ第3セクター運営のため大多喜町民以外には制約があり出荷できない野菜(タケノコ、シイタケ、コメ等)があり、苦慮しています。勝浦市にも道の駅を作る計画が以前ありましたが突然白紙撤回されました。勝浦市には周辺の自治体にはない利点があります。3つ挙げるならば私は

①冬暖かく夏涼しい気候

②首都圏からアクアラインを通じて外房の大海原に到達する最短距離

③水産資源の宝庫

だと思えます。この利点を活かす産業は言うまでもなく観光産業でしょう。道の駅設立計画を再考いただけないでしょうか。昨今全国的に道の駅は立ち寄りどころではなく目的地になっています。勝浦のポテンシャルを十分生かした道の駅を作り運営すれば勝浦市の発展に大いに寄与すると思います。場所は山間部の松野ではなく海辺にすべきでしょう。具体的提案は、現在通年稼働していない守谷にある市の駐車場全面あるいは拡張できるならば広げて、海洋レジャー、キャンプサイトも備えた道の駅設立が最適だと考えます。海の幸、山の幸、そして海洋レジャーのターミナルにして、人を呼び、雇用を広げ、移住もしやすい勝浦市で会ってほしいと切に願います。